

# 中央情報センターニュース

NO. 23

2004年5月20日

## 福島県医労連

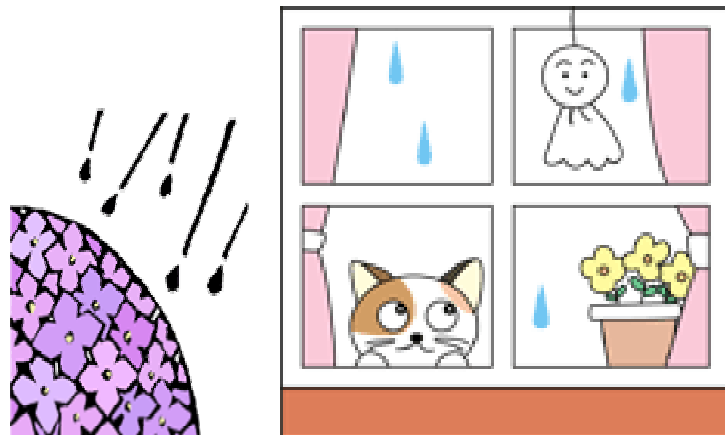
### 「県内に学校作って！」の請願署名が結実！

福島県医労連は、「県内に2年課程通信制の養成所の設置」を求めて、県知事あて請願署名に取り組んできました。この運動が県を動かし、具体的成果になりつつあります。

福島県は、医療現場を支える准看護師の看護師資格の取得を促すために、県内初の通信制課程の看護師養成所新設と、養成所の奨学助成を視野に入れた支援策の検討に入ると発表しました。検討会を設置し、支援策の方向性をまとめる方針です。

福島県では、看護師11,283人、准看護師9,165人が働いています。年代的には45歳未満では看護師が61%を占めますが、45歳以上では准看護師が57%と逆転しています。年齢が上がるに従い、准看護師に依存する傾向にあります。今後、養成所の廃止などで看護師の取得体制の後退が予測されるため、県看護師需給計画で、通信制課程の設置検討を打ち出しました。

通信制課程は授業料が高額で、働きながら学ぶ准看護師には負担が大きい現状です。新設に向けては、具体的な内容を提示しながら事前調査を行い、通信制へのニーズを把握する予定。あわせて、県内の看護学校などにも通信制設置の考えがあるか調査します。今年度予算で「2年課程通信制に関する調査・研究事業」として64万円を計上しています。



## 「移行をすすめる熊本の子」

### 看護の日に「2年課程通信制110番」

熊本では、県医労連と「移行をすすめる熊本の子」が、看護の日・看護週間の5月15～16日に「2年課程通信制110番」を行いました。

76件の相談が寄せられました。この取り組みは、今年4月から全国で3校が開校になり、熊本では来年開校されることになっていますが、いまだに知らされていないことから実施になったものです。

相談者へのアンケート結果では、この制度の浸透状況でよく知っていた(2.7%)、大体知っていた(17.8%)、少し知っていた(21.9%)、今回はじめて知った(57.5%)。相談者の勤務場所は、病院(27.5%)、医院・診療所(27.4%)、老人・介護・福祉施設(24.6%)、その他となっており、准看護師が病院・診療所以外の施設で働く機会が多くなっている状況が明らかになりました。

すすめる会と県看護協会は、この1年間で延べ2000人に制度の説明会を実施してきました。会が県内の准看護師113人にアンケートをおこなった結果では、78%が2年課程通信制の受講を希望すると答えています。

12日には熊本日日新聞に「2年課程通信制利用進まず受け皿も進まず」の見出しで大きく報道されました。

## 宮城県移行教育推進センター

### 県内の1校の設置めざし懇談を！

宮城県移行教育推進情報センターは、放送大学への集団入学や、集団学習会、未加入の准看護師の方の相談活動など、精力的な取り組みを行っています。「県内に養成所を」と、4月16日に県と懇談を行いました。県知事あてに「2年課程通信制の整備に関する要望書」を提出し、日本医労連が行った「准看護師アンケート」の結果も資料として手渡しました。県当局は、「具体的な検討はしていない」との答弁に終始しました。6月に再度、対県交渉を行う予定です。

県看護協会、医師会などとの懇談会も計画しています。

## 放送大学・夏季集中型科目の手続きはお済ですか？

04年度の夏季集中型の科目として、「老年看護学」「精神看護学」の2科目が開校されます。

ラジオ放送：7月22日～8月16日

認定試験日：9月24日(金)・25日(土)

**募集期間は、5月1日～5月31日<必着>**